

「税」に関する意識や情報発信に対するニーズ等の調査

【アンケート期間】：平成29年9月20日～10月2日（13日間）

【調査目的】：税金に関する関心や情報発信に対するニーズを調査し、今後の税務行政の参考とする。

【調査対象】：ながさきWEB県政アンケート全モニター395名

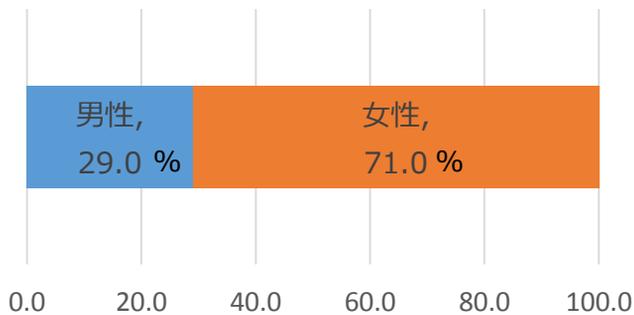
【回答状況】：回答者 369人（回答率93.4%）

【調査担当課】：県北振興局税務部

※小数点以下第1位を四捨五入しているため、100%にならない場合があります。

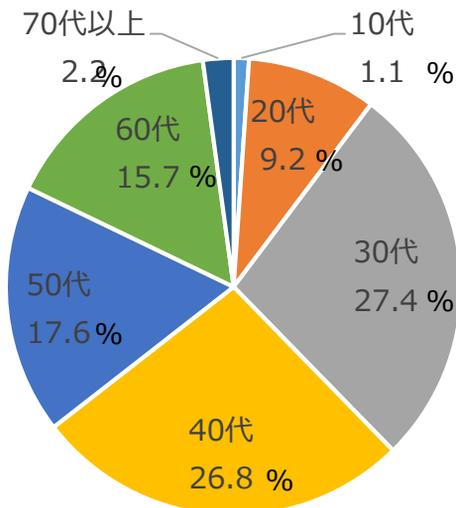
■回答者の属性

▼男女構成割合



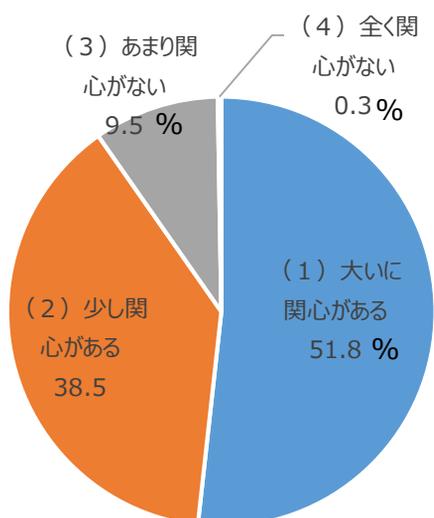
区分	人数	割合 (%)
男性	107	29.0
女性	262	71.0
合計	369	100

▼年齢区分別構成割合



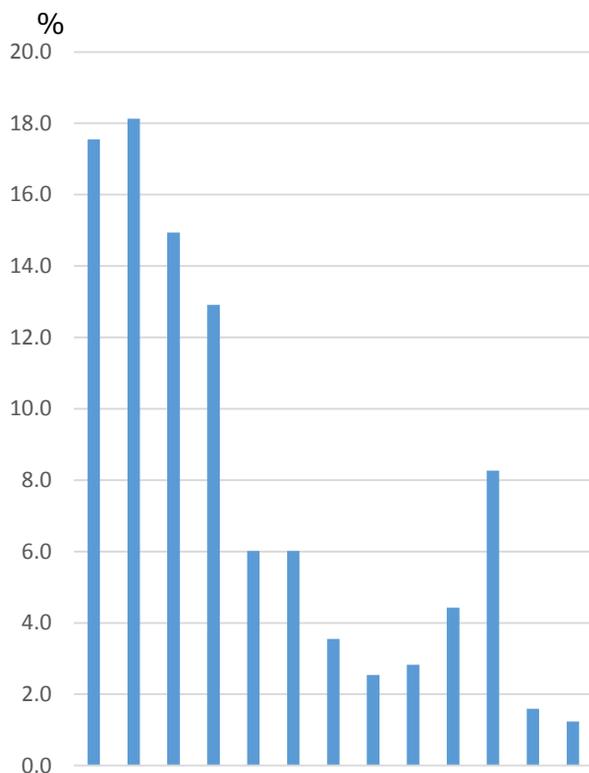
年齢区分	人数	割合 (%)
10代	4	1.1
20代	34	9.2
30代	101	27.4
40代	99	26.8
50代	65	17.6
60代	58	15.7
70代以上	8	2.2
合計	369	100

Q.1 あなたは税金について関心がありますか。



選 択 肢	回答数	割合 (%)
(1) 大いに関心がある	191	51.8
(2) 少し関心がある	142	38.5
(3) あまり関心がない	35	9.5
(4) 全く関心がない	1	0.3
合 計	369	100

Q.2 あなたが税金を意識するときはどんなときですか。 次の中から5つまで選んでください。



選 択 肢	回答数	割合 (%)
(1) 税金の通知が届いたとき	242	17.5
(2) 給与や源泉徴収票をもらったとき	250	18.1
(3) 日常の買い物をするとき	206	14.9
(4) 税金の制度改正が行われるとき	178	12.9
(5) 相続に関わる時	83	6.0
(6) 家を買うとき・建てる時	83	6.0
(7) 贈与をするとき・受ける時	49	3.6
(8) 退職する時	35	2.5
(9) 選挙の時	39	2.8
(10) 病院で診察や治療を受けたとき	61	4.4
(11) 自動車を買うとき	114	8.3
(12) 介護が必要になったとき	22	1.6
(13) その他	17	1.2

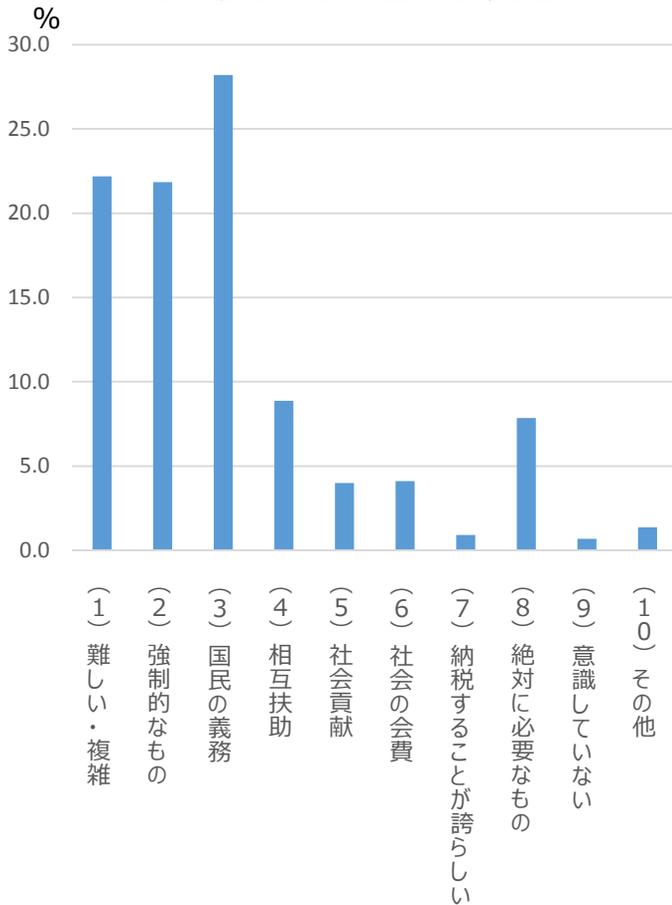
※回答数計1379に対する割合

【その他の主な意見（一部要約）】

- ・確定申告をする時 (4)
- ・株式等投資関連 (3)
- ・大規模な公共事業 (2)

- (1) 税金の通知が届いたとき
- (2) 給与や源泉徴収票をもらったとき
- (3) 日常の買い物をするとき
- (4) 税金の制度改正が行われるとき
- (5) 相続に関わる時
- (6) 家を買うとき・建てる時
- (7) 贈与をするとき・受ける時
- (8) 退職する時
- (9) 選挙の時
- (10) 病院で診察や治療を受けたとき
- (11) 自動車を買うとき
- (12) 介護が必要になったとき
- (13) その他

**Q.3 あなたは税金に対してどのような印象をもっていますか。
次の中から3つまで選んでください。**

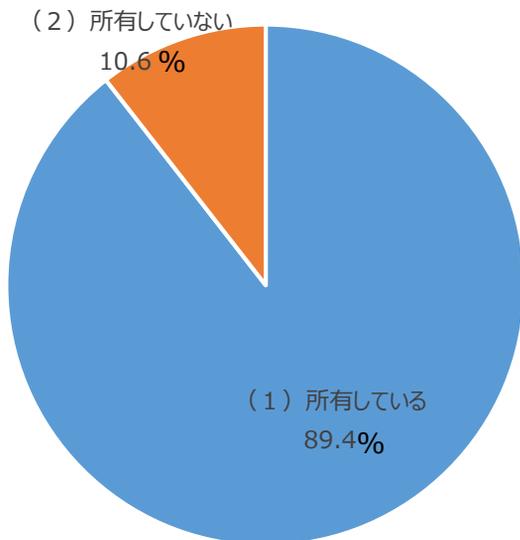


選択肢	回答数	割合 (%)
(1) 難しい・複雑	195	22.2
(2) 強制的なもの	192	21.8
(3) 国民の義務	248	28.2
(4) 相互扶助	78	8.9
(5) 社会貢献	35	4.0
(6) 社会の会費	36	4.1
(7) 納税することが誇らしい	8	0.9
(8) 絶対に必要なもの	69	7.8
(9) 意識していない	6	0.7
(10) その他	12	1.4

※回答数計879に対する割合

【その他の主な意見（一部要約）】
・高い (3)
・国を動かす元になる (1)
・用途が目に見えづらい (1)

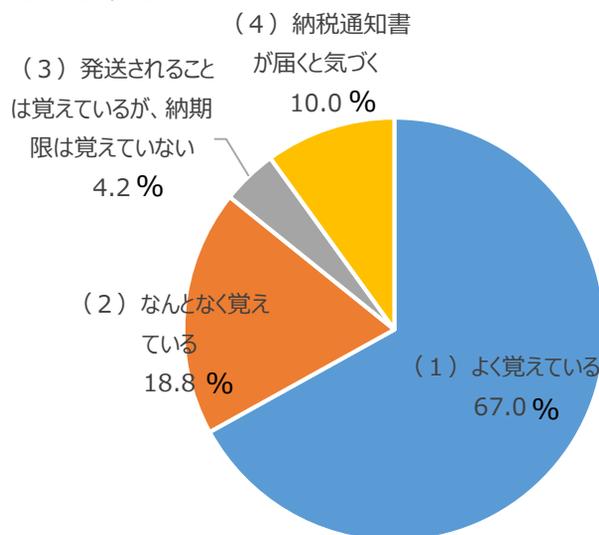
Q.4 あなた又はあなたと同居のご家族の方で、普通自動車又は軽自動車を所有していますか。



選択肢	回答数	割合 (%)
(1) 所有している	330	89.4
(2) 所有していない	39	10.6
合計	369	100

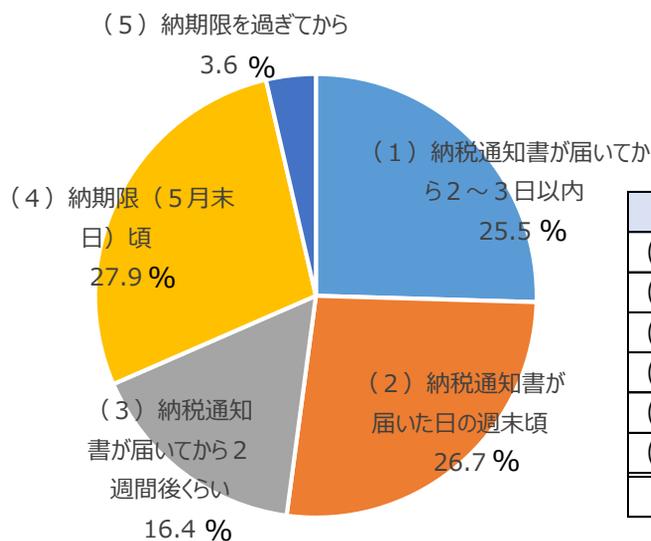
Q.4-2 「所有している」と答えた方にお聞きます。

あなた又はあなたと同居のご家族の方は、普通自動車及び軽自動車の税金（自動車税又は軽自動車税）の納税通知書が、毎年5月初旬から中旬にかけて発送され、5月末日（5月末日が閉庁日の時は翌閉庁日）が納期限であることを覚えていますか。



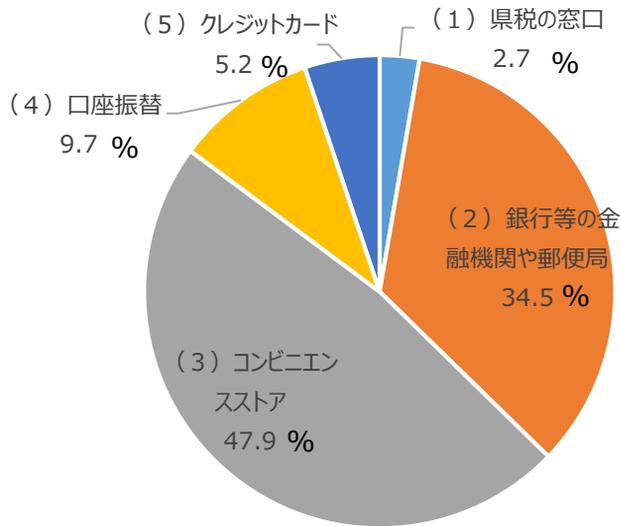
選 択 肢	回答数	割合 (%)
(1) よく覚えている	221	67.0
(2) なんとなく覚えている	62	18.8
(3) 発送されることは覚えているが、納期限は覚えていない	14	4.2
(4) 納税通知書が届くと気づく	33	10.0
合 計	330	100

Q.4-3 あなた又はあなたと同居のご家族の方は、今年（平成29年）の自動車税又は軽自動車税をどのタイミングで納付されましたか。一番タイミングが近い回答を選択してください。



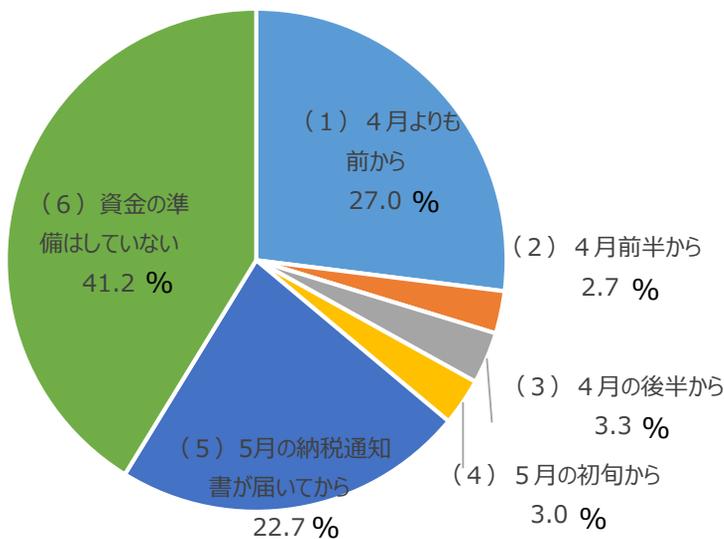
選 択 肢	回答数	割合 (%)
(1) 納税通知書が届いてから2～3日以内	84	25.5
(2) 納税通知書が届いた日の週末頃	88	26.7
(3) 納税通知書が届いてから2週間後くらい	54	16.4
(4) 納期限（5月末日）頃	92	27.9
(5) 納期限を過ぎてから	12	3.6
(6) まだ納付していない	0	0.0
合 計	330	100

Q.4-4 あなた又はあなたと同居のご家族の方は、今年（平成29年）の自動車税又は軽自動車税をどのような方法で納付されましたか。



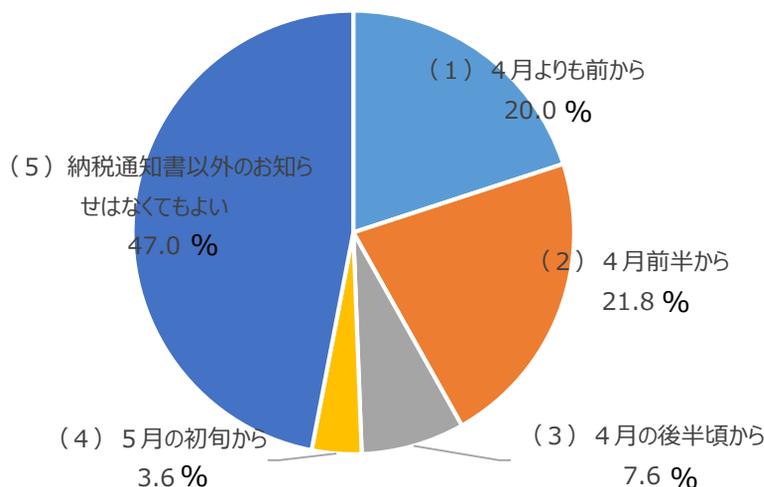
選 択 肢	回答数	割合 (%)
(1) 県税の窓口	9	2.7
(2) 銀行等の金融機関や郵便局	114	34.5
(3) コンビニエンスストア	158	47.9
(4) 口座振替	32	9.7
(5) クレジットカード	17	5.2
(6) まだ納付していない	0	0.0
合 計	330	100

Q.4-5 あなた又はあなたと同居のご家族の方は、今年（平成29年）の自動車税又は軽自動車税を納めるために、いつ頃から資金の準備を始めましたか。



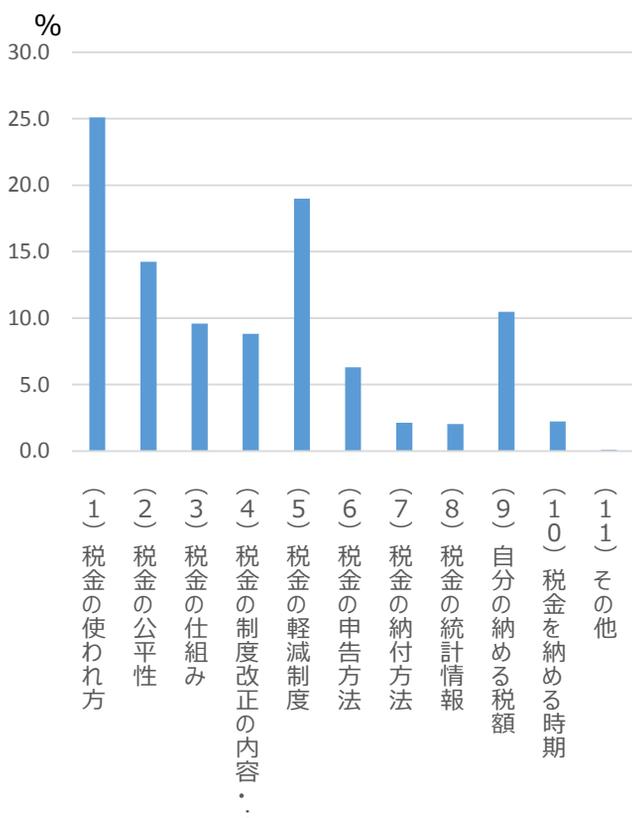
選 択 肢	回答数	割合 (%)
(1) 4月よりも前から	89	27.0
(2) 4月前半から	9	2.7
(3) 4月の後半から	11	3.3
(4) 5月の初旬から	10	3.0
(5) 5月の納税通知書が届いてから	75	22.7
(6) 資金の準備はしていない	136	41.2
合 計	330	100

Q.4-6 自動車税又は軽自動車税の納税通知書が届くよりも前に別途お知らせをしたら場合、どのタイミングでこれらの税金のお知らせをしてほしいですか。



選 択 肢	回答数	割合 (%)
(1) 4月よりも前から	66	20.0
(2) 4月前半から	72	21.8
(3) 4月の後半頃から	25	7.6
(4) 5月の初旬から	12	3.6
(5) 納税通知書以外のお知らせはなくてもよい	155	47.0
合 計	330	100

Q.5 あなたは税金の情報についてどのようなことが知りたいですか。次の中から3つまで選んでください。

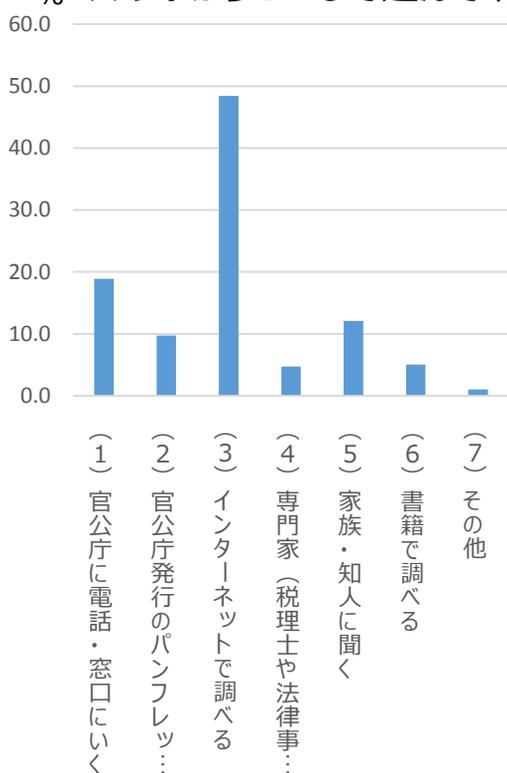


選 択 肢	回答数	割合 (%)
(1) 税金の使われ方	259	25.1
(2) 税金の公平性	147	14.2
(3) 税金の仕組み	99	9.6
(4) 税金の制度改正の内容・動向	91	8.8
(5) 税金の軽減制度	196	19.0
(6) 税金の申告方法	65	6.3
(7) 税金の納付方法	22	2.1
(8) 税金の統計情報	21	2.0
(9) 自分の納める税額	108	10.5
(10) 税金を納める時期	23	2.2
(11) その他	1	0.1

※回答数計1032に対する割合

Q. 6 あなたは現在、税金の仕組みや制度、納める税額や時期等の各種税金の情報が必要になったとき、どのような方法で調べますか。

次の中から3つまで選んでください。



選 択 肢	回答数	割合 (%)
(1) 官公庁に電話・窓口に行く	128	18.9
(2) 官公庁発行のパンフレット等を見る	66	9.7
(3) インターネットで調べる	328	48.4
(4) 専門家（税理士や法律事務所等）に聞く	32	4.7
(5) 家族・知人に聞く	82	12.1
(6) 書籍で調べる	34	5.0
(7) その他	7	1.0

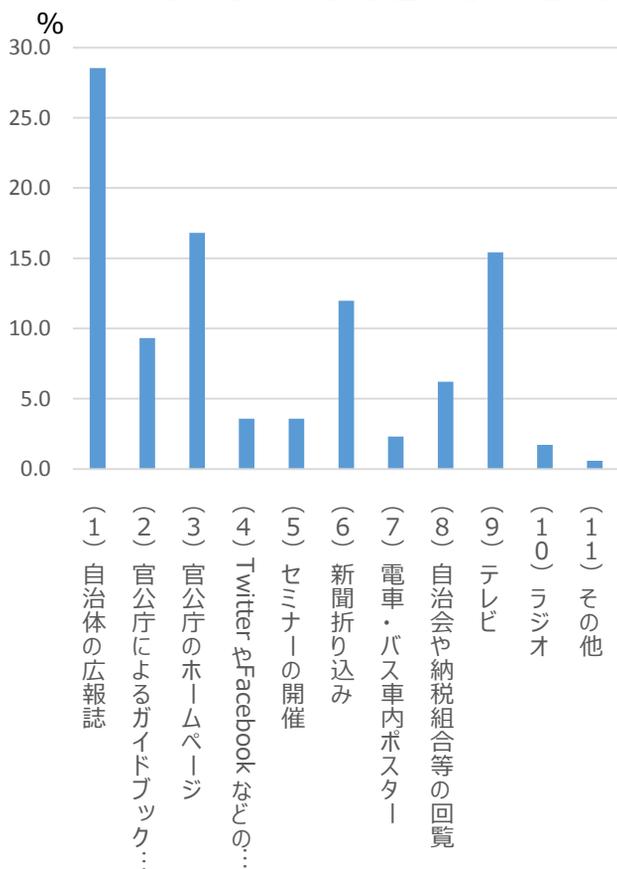
※回答数計677に対する割合

【その他の主な意見（一部要約）】

・青色申告会で尋ねる（1）

Q. 7 あなたは、今後税金の情報をどのような方法で受け取りたいですか。

次の中から3つまで選んでください。



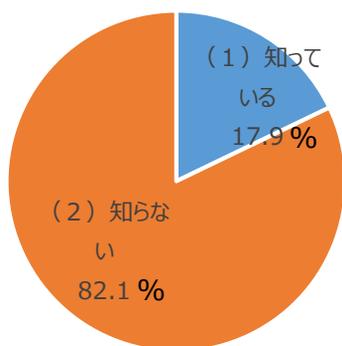
選 択 肢	回答数	割合 (%)
(1) 自治体の広報誌	248	28.5
(2) 官公庁によるガイドブックやリーフレット	81	9.3
(3) 官公庁のホームページ	146	16.8
(4) TwitterやFacebookなどのSNS	31	3.6
(5) セミナーの開催	31	3.6
(6) 新聞折り込み	104	12.0
(7) 電車・バス車内ポスター	20	2.3
(8) 自治会や納税組合等の回覧	54	6.2
(9) テレビ	134	15.4
(10) ラジオ	15	1.7
(11) その他	5	0.6

※回答数869に対する割合

【その他の主な意見（一部要約）】

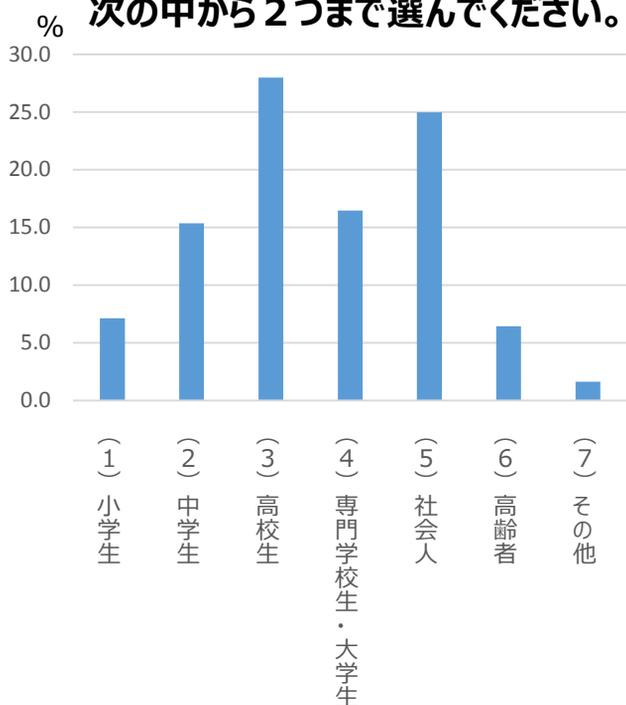
・LINE（1）

Q. 8 あなたは、県の税務職員等が毎年学校を訪問し、児童・生徒を対象として税金に関する授業を行う「租税教室」を実施していることを知っていますか。



選 択 肢	回答数	割合 (%)
(1) 知っている	66	17.9
(2) 知らない	303	82.1
合 計	369	100

Q. 9 あなたは、「租税教室」はどのような人たちを対象に行うべきだと思いますか。次の中から2つまで選んでください。



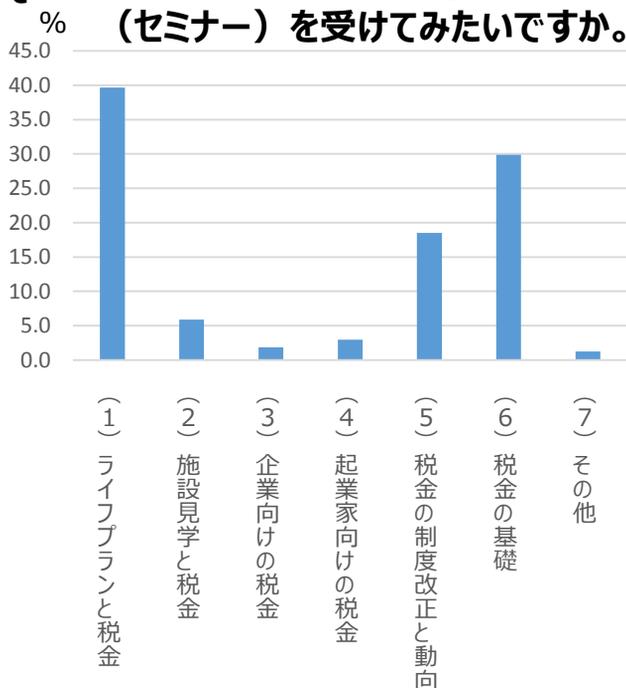
選 択 肢	回答数	割合 (%)
(1) 小学生	52	7.1
(2) 中学生	112	15.4
(3) 高校生	204	28.0
(4) 専門学校生・大学	120	16.5
(5) 社会人	182	25.0
(6) 高齢者	47	6.4
(7) その他	12	1.6

※回答数729に対する割合

【その他の主な意見（一部要約）】

- ・年齢に関係なく興味がある人 (2)
- ・農家や個人事業主、主婦など (2)

Q. 10 あなたは、「租税教室」を受けるとしたらどのようなテーマの「租税教室」（セミナー）を受けてみたいですか。次の中から2つまで選んでください。



選 択 肢	回答数	割合 (%)
(1) ライフプランと税金	255	39.7
(2) 施設見学と税金	38	5.9
(3) 企業向けの税金	12	1.9
(4) 起業家向けの税金	19	3.0
(5) 税金の制度改正と動向	119	18.5
(6) 税金の基礎	192	29.9
(7) その他	8	1.2

※回答数643に対する割合

【その他の主な意見（一部要約）】

- ・税金の必要性や用途決定の仕組み (3)

Q. 1 1 税金（特に地方税である自動車税又は軽自動車税）の内容や情報発信に関することで、あなたの意見をお聞かせください。（自由記述）

※誤字・脱字の修正や一部要約しています。

【意見・要望概要】

○情報発信に関すること

- なかなか自分から情報を求めていかないので、普段の生活を送る上で自然と耳に入ってきたらいいなというのが個人的な意見です。
- 税金は、私たちの社会生活を支える財源となっていると思うので、その使い道を詳しく教えてほしいです。
- 自動車税や軽自動車税の用途について詳しくは知りません。地方税として地元の発展に役立っているのなら、主だった用途を広く広報することで、納税率が良くなるのではないのでしょうか。
- 税金は嫌だと断ることもできないし、強制的に払わされているもの、という意識しかない。どれだけ有意義なものなのか、大きなお金の流れ(建設費、事業整備費)を言われても全くピンとは来ないので、自分に関係のあること、身近なことを以て例を示してほしい。自分にとって、損ではない、有益なことだ、と分かれば、嫌々納めるということも少なくなる気がする。
- 何に使われているか、透明性をもって開示してもらえれば、滞納を減らせると思う。今は、自動車税だけでなく色々な税金で使われ方が不透明でわかりにくいと思います。
- 税金の説明はどうしても難しいです。簡便にとはいかないのですが、様々な方が見るものとして、「困ったら」などの案内の連絡先くらいはルビをふったり、大きくしたり、わかりやすくしてもいいのでは。
- 地方にとって車は必需品なので、自動車税ももはや当たり前のように頭に入っているので特別な情報はいらないのですが、税金が上がった時にはしっかりと広報して欲しいと思います。

○納税手段に関すること

- コンビニやカードで支払いができるようになり、便利になって、お得感がある。
- ネットでカード支払いができるようになって、うれしかった。
- 総務省の公式サイトで金額が明確に記載されているのでわかりやすいです。

○その他

- 税金は無駄に使われていないか非常に気になる場所である。払うのが当然なのかもしれないが、一人一人の大事なお金を預かっているのだという自覚を自治体のトップの人には常に持ってほしい。
- 税金を払うのは義務と思い、毎月少しずつ4月の納付に向けて貯蓄しています。しかし、周りの人たちは通知が来てから慌てています。税金に対する意識を改善することも必要と思います。高い税金を払っても社会生活で還元されているとわかったりすることは重要だと思います。